

# 学校での嫌なこと、ドラマで再現。

「偏見とえん罪」「転校生と思いこみ」「いい人生と受験競争」

人権学習DVD (テキスト付)

『**見てから考えよう**』 ISBN:978-4-8339-0613-5

ショート劇場その1

「身近に日々起こっている小さな嫌なこと」を、教室の仲間たちと再現ドラマを見てから、一度、大きく考えてみませんか。この「ショート劇場」は独創的な手法で創りました。

映像は、百のことば、千の文章よりも一瞬にして強く伝わります。新しい映像教材+授業の手引きができました。

教室で生徒たちとともに、先生が楽しく、そして正確に教えることができる人権学習の映像手引きとして、この「DVD+授業の手引き」をぜひご活用下さい。

<内容紹介>

## 第1話「幸せって何だ？」



AくんとBさんが、放課後の教室で、進路や将来、家族のことを話している。Aくんは、学校の勉強が苦手で、早く日本料理の板前になりたいと思っているが、経済的余裕のある家で、親が大学を出なくては大めだという。一方のBさんは、親には学費が出せないといわれているが、大学に進学し、人から「いい人生」を送っているという評価をされたいという夢を持つ。それぞれの人生にとって、幸せとは何だろうか？

## 第2話「転校生」



クラスでもやんちゃなタイプのAくんの中学校に、家族の仕事の都合でアフリカのチュニジアに滞在していた日本人のBくんが転校してくる。Aくんは、転校生に威圧的な態度で臨み、「日本人らしくしろ、郷に入れば郷にしたがえ」といろいろと知ったかぶりをする。しかしBくんの方が日本や世界のことから知ってずっとよく知っている。そして半年後の二人は…

## 第3話「疑惑の理由」



会社から不当な解雇をされた父親が、公園でふさぎこむ息子に出くわす。実は、息子は、同じクラスの女子生徒がクラブで使う楽器のオーボエが無くなった件で、みんなから盗んだと疑われ、犯人扱いをされる。父親は息子のくやしい気持ちを聞こうとする。



人権学習DVDの授業の手引き(表紙・内容)。各ストーリー、それぞれのポイント、授業の展開方法などが解説されています。

+



人権についての核心を、子どもたちの身近な生活の場面を通じて学ぶことができるようにしたDVDです。

全3話(第1話「幸せって何だ?」、第2話「転校生」、第3話「疑惑の理由」)から構成され、関西弁の軽やかなタッチで展開していく、約15分(各5分)の映像です。



当教材は、サイエンス映像学会からの評価と推薦を受けています。



サイエンス映像学会  
Science Visualization Society of Japan

「サイエンス」とは自然科学、社会科学、人文科学、芸術科学を含めた言葉と考えています。この「見てから考えよう」の映像教材は、社会科学と人文科学の学際的な問題をサイエンス映像を使い人権学習する新しい試みです。SVSは、このような取り組みを支援する学会として活動しています。<http://svsnet.jp/>の中にあるネット広場の「サイエンス・オアシス」でもこの映像教材「見てから考えよう」(DVD+授業の手引き)を推薦しています。



## 林 勝彦

サイエンス映像学会 副会長  
科学ジャーナリスト塾 塾長  
NHKスペシャル「人体」元プロデューサー  
東京工科大学メディア学部 客員教授

この「見てから考えよう」の映像には、起承転結やドラスティックな盛り上がりがありません。見た人それぞれに感じ方の違いが出るので、「見て感想文を書く」だけでは役に立たない。どこに問題が潜んでいるのかを生徒同士が話し合い、先生が補足するための「素材映像」です。安易な感動ではなく意見表明と他者の考えを理解する小さな体験学習ができます。



## 福田 弘

聖徳大学児童学部 教授  
筑波大学 名誉教授

なにげない会話やギャグ、多数派意見への安易な同調、泣き寝入りやあきらめ。こんな日常的なできごとの底に潜む人権問題をも感知し、認識し、解決する総合的能力の育成が、いま求められています。人権感覚を鋭くし、人権擁護に必要な知識、技能、価値、態度を育む、そんな人権学習におのずと青少年をいざなう魅力を、この教材は具えています。



## 畑 祥雄

サイエンス映像学会 事務局長  
関西学院大学総合政策学部 教授  
同大学サイエンス映像研究センター長

なぜ、漫画、テレビ、ゲームが子どもたちに大きな影響力を与えるのか。それは目から入る情報が人の感情を直接的に動かすからです。記憶に残ることは、まず目から入り、その後に言葉や文字を使い、深く継続的に人格が形成されていきます。間違った考えも逆に文字や言葉とともに映像を使うことで強く気づかせることができます。



## 白石 理

アジア太平洋人権情報センター 所長  
元国際連合人権高等弁務官事務所人権担当官

将来への不安、勉強、いじめ、など「しんどいこと」だらけ。学校で、家庭で、問題と向き合うための手がかりを掴む。「人を大切に」が、かけ声におわらないために、この教材を使って「見てから、考えよう」。人はだれでも、世界中どこでも、同じように大切に守られるという人権の意味と底力を楽しみながら学ぶために、お役に立てれば幸いです。



### 財団法人アジア・太平洋人権情報センター (愛称:ヒューライツ大阪)

アジア・太平洋地域における人権の確立・伸長に貢献するとともに、国際化時代にふさわしい人権意識の高揚を図ることを目的とし、国際的な人権に関する情報交流とネットワークづくりをめざして様々な事業を行っています。

ヒューライツ大阪  
HURIGHTS OSAKA

ACCESS 所在地 〒552-0021 大阪市港区築港2丁目8番24号 piaNPO3階  
TEL 06-6557-3578 FAX 06-6577-3583  
ホームページ <http://www.hurights.or.jp>  
E-mail [webmail@hurights.or.jp](mailto:webmail@hurights.or.jp)  
休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

題名 : 「見てから考えよう」ショート劇場その1(人権学習DVD)  
ISBN : 978-4-8339-0613-5  
企画・原案:財団法人アジア・太平洋人権情報センター 所長 白石 理  
総合プロデュース:NPO法人 彩都メディア図書館 畑 祥雄  
映像制作: 彩都メディアラボ株式会社  
出演 : 映像劇団「アルト」  
映像演出: 有限会社クロックワーク  
テキストデザイン:神澤真理  
イラスト: ほそみあきこ  
発行 : 財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)  
発売 : 株式会社ブレンセンター

● お申込み先(ブレンセンター)  
〒530-0043大阪市北区天満4丁目2番13号 ブレンセンター「風の万華鏡」  
TEL.06(6355)3300(代表) FAX.06(6881)2630  
ホームページ <http://www.bcbook.com>

申し込みFAX 人権学習DVDショート劇場その1 映像教材(DVD+授業の手引き)

題名: 「見てから考えよう」ショート劇場その1 ISBN:978-4-8339-0613-5 税込金額 2,625円 (1セット)

お名前(団体名) 担当者名 TEL ( )  
FAX ( )

ご住所

お申込み方法: 1. ブレンセンターのホームページ・FAX・ハガキ・お電話にて直接お申込みできます。  
2. Amazon及び全国の書店でも、ご注文いただけます。(取次: トーハン・日販・大阪屋)

\* 大阪府内の教育関係者の方は、できる限りヒューライツ大阪へお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。(FAX:06-6577-3583)  
<別途送料350円必要>